

業務部速報



No. 111

発行 22. 1. 30

JR東労組 業務部

「2022年度新幹線総合車両センター業務計画について」の提案を受ける！

1月28日、新幹線統括本部より「2022年度新幹線総合車両センター業務計画について」の提案を受けました。

提案では、2022年度は安全安定輸送の確保を前提としながら、車体科業務の一部委託やE8系新幹線電車投入等の各種施策を推進し、大きく変化する社会環境に適應するため各新幹線車両センターやグループ会社との連携を深め、業務を遂行していくとされています。

提案内容は以下の通りです。

1 定期検査工事計画

車種	検査両数		
	全般検査	台車検査	計
E2系	48	20	68
E3系	42	49	91
E5系	222	180	402
E6系	41	84	125
E7系	90	204	294
計	443	537	980

2 主な改造工事

- (1) E5系とE8系併結に伴う改造工事 210両
- (2) E5系自動動揺測定装置の設置工事 70両
- (3) E5系新幹線防犯カメラ画像の地上送信工事 60両

3 車両計画

- (1) 投入計画 E7系 72両、E8系 7両
- (2) 廃車計画 E2系 60両、E3系 6両、E4系 8両

4 業務等の見直し

- (1) 車体科業務の一部委託
- (2) 検査、修繕時間の精査

5 提案箇所体制について

		現行			改正		
		変形等	交代	計	変形等	交代	計
新幹線総合車両センター	管理	31	1	32	31	1	32
	一般	301	10	311	247	10	257

6 実施期日 2022年4月1日

主な議論内容

1 定期検査工事計画

- ・昨年度よりも全般検査では90両ほど減っている。運用、走行しない時期があった。
- ・昨年2月以降に全般検査を施工した車両は周期が変更されるが効果が出るのは2023年度。
- ・ALFA-Xは来年度からは昼夜に、より長い距離を走行して、各機器の性能、耐久性を見ていく。
- ・臨時列車化については今の実態を踏まえ、利用状況が戻ると想定した上で算出している。実態よりは多めの想定をしている。

2 主な改造工事

- ・(1) E5系と併結する際にE5系側でE8系に読み替えるシステム改修が必要である。
- ・(2) 現行13編成を全車両に拡大する。
- ・(3) 来年度残り6編成の改造工事をする。

3 車両計画

- ・E8系は、秋頃に納入される。
- ・廃車は、E2系は4月以降解体。E3系はR18編成の「とれいゆ」。E4系は運用を終えた車両。

4 業務等の見直し

- ・(1) 昨年提案した入場測定作業と弱電機器、空制装置検修作業の委託が4月1日となる。
- ・(2) E4系は密着連結器が2つあり、Panも菱形でシングルアームより作業時間がかかっていた。

5 提案箇所体制について

- ・標準数から出面数の管理となる。
- ・実態に合わせて最適な場所に配置していく。
- ・退職者がいるため社員数は減少傾向になる。

その他の議論

- ・フレックスタイム制は施行科への導入も検討中。
- ・新利府駅の改修について仙台支社から特段聞いていない。
- ・エルダーの雇用先は仙台支社が探している。

組合員の不安を受け止めるべきだ！

車両品質を向上し安全な新幹線輸送を確保するため、組合員が安心して働ける環境をつくり出そう！